

引き続き、全国総合福祉車両
協議会（以下、当協議会）に加盟
する事業者様による「取り組み
好事例」を紹介します。

ります。

――京浜自動車協業組合様
の主な事業内容について教えて
ください

主として行っているのは、

車検・自動車整備・钣金塗装です。
本年実績は、1月から8月まで
の8カ月間で車検獲得台数60
0台以上を計上。年間平均10
00台超の車検実績を刻んでい
ます。

――車検獲得に占める福祉車
両の割合は、どのくらいですか

弊社は、リース車の取り扱い
台数が多く、自動車リース会
社を介しカーメンテナンス全般
を請け負っています。おおよそ
100台です。

――当協議会に加盟したきつ

かけを教えてくださいませんか

福祉車両事業を本格的に始め
たのは2017年のこと。



今回は、東京都大田区で車両
修理を生業とする京浜自動車協
業組合の大石様にうかがいま
した。

SS事業を営んではおりませ
んが、福祉車両事業の組み
みで気づかされる事はたくさんあ

当時は、車椅子用リフトなどの修理は外注していました。内製化したいとの思いを強めていたところ、ご縁があり、当協議会の稲垣（利一）代表理事を紹介していただきました。2020年のことです。



――当協議会への加盟を決めた明確な理由があったということ

とですか

加盟会員を対象にしたメンテナンス研修が頻繁に開催されていると知り、ぜひ参加したいと思いました。

実際に参加すると、現車を用いた実技を伴う研修が行われており、とても有益でした。

車椅子用リフトなどの機器は、特殊ですから、点検・整備、修理に関するノウハウを蓄積するにも相応の時間がかかります。

現車を用いた研修を通じて、必要な知識と専門的な技能を習得できるので、この研修に参加した整備士たちは皆、覚えるスピードが早い。

壊れやすい箇所を差し示しながら教えてもらえ、交換すべき部品についても実物を目で見て確かめながら作業を進めていくので、整備士のおのが持ち帰

って、その翌日からすぐに取り組めます。

――当協議会の存在が、業務の内製化を推し進めるにあたり下支えになっているということですね

そのとおりです。

以前は、福祉車両および福祉機器装備品の故障診断をするだけでも、四苦八苦していました。

当協議会に加盟し、ノウハウが蓄積・共有されていくうち、故障診断から原因究明までの時間は大幅に短縮されました。

当協議会のホームページ上では、（正会員向けに）整備事例の数々を公開しています。とても勉強になります。

――カーディーラーを窓口とした、福祉車両にかかわる研修を受けられるようにすればよいと思うのですが、いまだその

環境は整っていないようです

福祉車両の利用者らに向け、その方面のご案内はされていないのが実際のところ。それなので、当協議会の活動がより意味を増す。

経年的にデータを蓄積し、質の高い検証とフィードバック（助言、改善点などを伝える行為）の繰り返しは、われわれ整備業を営む者たちにとって本当にありがたい。当協議会の存在を抜きにして、私どもの福祉事業は成り立たない、と言っても過言ではありません。

――福祉車両の整備を切り口に、今後さらなる事業拡大を見込んでいるのですか

車椅子リフトなどの修理がきっかけとなり、ついでに、ドライブレコーダーや自動ブレーキ装置を装着してほしいとご依頼

をいただくことは多いですね。

ただ、私どもの場合、地域の病院や介護施設が所有する福祉車両のそれについて申し受けたとして、そこからさらに、そこに勤務する職員各位のマイカーの整備需要を取り込むところまでは手が届いておりません。

他の介護施設とのやり取りで必要になる軽自動車などをお持ちの介護施設がございまして、そういった車両の整備・钣金をしてほしいとご依頼をいただくことはありますね。

――京浜自動車協業組合様は、整備担当者に「福祉車両整備士」の資格を取らせていますね

自動車整備・メンテナンス全般について、お客様に安心して任せていただけるように受け入れ態勢を固めています。その一環です。

福祉車両整備士の資格は、認知が不足気味。整備業界に止まらず、世間に向けた広報活動も必要との思いを強くしています。当協議会だからこそ、発信できることは多々あります。その辺りの事も力を注いでいただけたら、なおよし。ぜひ、お願いします。

――承知しました。その方面の活動にも努めて参ります。

国内での少子高齢化の進行は顕著です。福祉介護ニーズは、今後ますますふくらんでいきます。

私どもでも、福祉車両の整備を事業の柱のひとつと位置づけています。この福祉車両事業を通じて、お客様に喜んでいただけるサービスを提供できるようにしていきたいと熱意を燃やしています。

――当協議会の活動で評価できることについて、ほかでもございますか

受ければ、商売のヒントを得られます。

整備專業の集まりでは、あまり聞くことのない話題が持ち上がったたりもして、有意義な時間を過ごさせていただいています。

――福祉車両事業をもっとはかどらせたい、新規で立ち上げたいなどと思いを馳せる事業者に向け、アドバイスを頂戴できますか



「年次（全国）総会」「会員大会」（いずれも年1回開催）へ参加させていただいており、意義を感じています。

これらの場では、業種・業界の垣根を越え、SS事業者などの企業各社と交流を重ねられます。企業各社の取り組みから刺激も

福祉車両の利用者のお困り事は、日々お使いになっている福祉車両にひとたび問題が起ると、それを必要としている当人およびそのご家族、病院や介護施設の職員・スタッフたちがすぐさま困り果ててしまうことです。

とりわけ朝夕の時間帯、福祉車両を使えないとなると、致命的です。

いかに短い時間・期間で福祉

一緒に頑張りましょう。

車両の修理や整備を完了させ、
すみやかに引き渡しできるか。
ここが最も重要な点です。

――ありがとうございます。

ディーラーに対し、福祉車両
の修理や整備をお願いしたとし
て、1カ月以上とか、かなりの時
間を要する場合がございます。

その実態がある中で、1〜2
日ほどのお預かりでお引き渡し
できれば、お客様はたいそう喜
んでくださいます。

お客様のご要望に適切に応え
ていけば、事業拡大は、あとから
ついてくるのではないでしょう
か。

当協議会が蓄積する整備デー
タ類は貴重です。

当協議会への加盟いかんによ
り、事業の成否を分けると考え
れば、迷いは必要ない。ぜひ加盟
することをお勧めしたいですね。